

# 8 総合的な学習の時間の指導計画

岡崎市立山中小学校

本校の教育スローガン「えがお いっぱい」  
 ◎3つのえがお  
 やさしいえがお（命を尊び、思いやりあふれる子）  
 はじけるえがお（体を鍛え、力いっぱい励む子）  
 自信のえがお（深く考え、自ら学ぶ子）

＜総合的な学習でめざす姿＞  
 地域の自然や人々とのふれあいを通して、  
 ① 自他の生命を尊重し、考えや生き方を学ぶ  
 ② 自分のよさを認め、よりよく生きようとする  
 ③ 郷土や国を愛し、郷土や国の未来について考える

本校の研究＜学習や生活に生きて働く「書く力」の育成＞  
 —「書写力」を基盤とした学力の向上を目指して—  
 ・読みやすく書きやすい文字が書ける＜書写力＞  
 ・文字のもつ意味を正確に理解し大切に書く＜語彙力＞  
 ・目的や場面に合わせて書き分けることができる＜活用力＞

各学年の概要		3年	4年	5年	6年
系統性	「郷土」「環境」をキーワードに、3・4年は地域への広がり、5・6年は過去や未来への広がりを持たせた「ふるさと学習」「国際理解学習」である	郷土を知る	伝統を考える	伝統を受け継ぐ	国文化・異文化理解を通して考える
過程	探究の過程 育てたい力・心	「アイラブ山中」 (4月から3月)	「どうする山中!？」 (9月から3月)	「受け継ごう 伝統芸能デンデンガッサリ」 (4月から3月)	「世界と つながる心 つながる力」 (4月から3月)
時間	「岡崎市環境学習プログラム」は15時間程度の実施。教科の時間も利用できる	35時間（環境含む） (35時間は英語へ)	35時間（環境含む） (35時間は英語へ)	70時間（環境含む）	70時間（環境含む）
感じる力・心	■課題の設定 (体験的な活動を通して課題意識を持つ) ・問題発見能力 ・課題設定能力 ・感動する心 ・驚きや疑問を感じる心	「山中学区の探検をしよう」 ・自然 ・安全 ・防災 「山中学区の魅力は何だろう」	「山中学区から人が減ってしまったら山中学区はどうなるの？」 「山中学区が未来も残るために何が「できる」の」	「自分の住んでいる町の自慢を発表しよう」 ・北山湿地 ・田んぼ ・扇子山 滝 ・神社 お祭り ・お店 ・昔話	「興味ある国についてインターネットで調べよう」 ・環境 ・気候 ・文化 ・衣食住 ・問題点
追究する力・心	■情報の収集 (必要な情報を取り出したり、収集したりする)	「山中学区の魅力は何だろう」 ・山中学区の自然 ・山中学区の安全 ・山中学区の防災 ・山中小学校の魅力	・山中八幡宮 ・鳩ヶ窟 ・御開運竹 ・デンデンガッサリ ・デンデンガッサリ保存会	「自分の町内の神社やお祭りを調べよう」 ・いつ・誰が・祭は？ ★デンデンガッサリ ⇒共通課題 「祭りの意味や受け継ぐ価値を考えよう」	「リトルワールド見学を通して民族文化を学ぼう」 ・世界各国の民族の暮らしの知恵 ・民族衣装を着て体験 ・日本と比較して「フラダンスを体験しよう」
	■整理・分析 (取り出した情報を整理したり分析したりして考察する)	・他者を認める心 ・思いやりの心 ・自然を慈しむ心 ・異なる意見や他者を認める心	「たくさんのいきものが見つかったよ」 「たんさんの植物が見つかったよ」 「マップにしてまとめたらよくわかるよ」 「安全に学校に行けるのは、駐在所や見守り隊のおかげだね」	「知らない歴史がたくさんあるね」 「御開運竹にあんなエピソードがあるなんて」 「たくさんの人に山中に来てもらうためにはどうすればいいかな」	「保存会もあるよ」 「話を聞こう」 「歌や所作を教えてもらい、体験しよう」 「祭りには深い意味があるんだな」 「ぼくたちが受け継いで、未来にのこしていきたいな」
表す力・心	■まとめ・表現 (気づきや発見、自分の考えをまとめ、判断し、表現する)	・コミュニケーション能力 ・プレゼンテーション能力 ・表現力、実践力 ・メタ認知能力 ・感謝する心 ・自信と自尊心(自己肯定感)	・マップ作り 「山中小学校の魅力が伝わるマップを作ろう」 「全校のみんなにも教えてあげよう」 「山中八幡宮やデンデンガッサリも魅力的だよ」	「たくさんの人に伝えるように新聞にしよう」 「他の地域の人々にも知ってもらいたいな」 「来年のデンデンガッサリが楽しみだよ」	「集会で発表しよう」 「山中八幡宮で発表会をさせてもらおう」 「ポスターやパンフレットにまとめよう」 「4年生に伝えて伝統をつなげたい」
岡崎市環境学習プログラムの実施 その他の活動		「岡崎市環境学習プログラム」は、いきもの調査と関連させて1学期に実施することがよい。温度計の使い方を1学期に学習するようにすると扱いやすい。	「岡崎市環境学習プログラム」は、社会科と関連させて6月から実施。「ごみの処理と利用」の学習でクリーンセンターへの見学を関連させて扱う。	「岡崎市環境学習プログラム」は、1学期に実施。米作りを通してネイチャーテクノロジーに触れ、伝統芸能にも結び付けられるとよい。	「岡崎市環境学習プログラム」は、環境問題を「食」の面から考え、食品ロスやフードマイレージを学ぶ。SDGsと関連させるとよい。

### ＜実施上の留意事項＞

＜評価＞  
 ■自己評価カード  
 ■相互評価  
 ■他者評価  
 (保護者の評価)  
 ■日記  
 ■活動のようす

＜人・地域のつながり＞  
 ■地域の教材化  
 ■ゲストティーチャーの活用  
 ■保護者の協力  
 ■連携や交流 ・山中保育園  
 ・愛恵協会 等  
 ■家庭・地域への発信

＜教材のつながり＞  
 ■3年理科「しぜんのかんさつをしよう」との関連  
 ■4年社会「ごみのしよ理と利用」との関連  
 ■書写の「生活に広げよう」を活用した表現  
 ■道徳や特別活動との連携  
 ■ESDカレンダーの活用

＜態度のつながり＞  
 ■日常の学校生活へつなげる  
 ■家庭での活動につなげる  
 ■自分の生き方を見つめる  
 ■地域の活動に広げる  
 ■観察会・ボランティア活動等に参加する